

夕張川かわら版

「夕歩道」とは
夕張川と流域住民をつなぐ
川の道です

平成18年 早春

其の五

夕歩道

第9回夕張川流域会議が開かれました。

■日時 平成18年2月14日(火)
■場所 南幌町ふるさと物産館「ビューロー」

今回の流域会議は、各団体の活動報告のほか、江別河川事務所が行った「環境調査」や「河川工事の報告」、また流域会議で取り組むことが提案された「夕張川・川の楽習会」の開催と、「川の学習手引書」作成の経過報告がありました。

会議では、次第に広がりを見せてきた「川の学習活動における安全管理」について厳しい指摘や意見交換があったほか、7月に予定されている夕張川洪水地震危機管理演習のお知らせがあり、あらためて流域の連携の大切さを実感しました。



川と年冠③

「水売り井戸」

JR栗山駅の近くに「水売り井戸の跡」という石碑があります。碑文には、「明治21年、栗山移住の開拓者はカナケ水に悩んでいたが、ここだけは良水の出る所として多くの人々が手桶や天秤桶で「貰い水」にきた。その後、馬車に水槽を積んだ水商いがポンプの普及した大正の末期まで続いた」とあり、水害だけでなく、悪水にも苦労した様子がわかります。



栗山町史には、「沸かせばお茶のようになり、白い洗濯物は赤茶ける」と記述がありますし、昭和11年の水質検査でも検査箇所3分の2が「飲料不適」となっていたそうです。

小林酒造では、かつては長沼の湧水権利を取得して醸造に使用したようです。冬にはソリで運んでいたというこの水は「御前水」といわれていたそうです。水道水ができてからは本当に便利になったんですね。水に感謝！

カナケ水(金気水): 太古よりアシ等の草が地中に堆積し、それらが腐敗・酸化するため鉄分とマンガン分が非常に多い赤茶けた水が出ることをいう。

夕張川フォーラム

■日時 平成17年11月18日(金)、19日(土)
■場所 栗山カルチャープラザE-KI

1日目 基調講演& パネルディスカッション

基調講演

基調講演では、「これからの川づくり・流域連携のあり方」と題して、塚原氏から「河川法改正を機に河川環境の重要性が指摘され、自然豊かな川をつくるため『多自然型川づくり』が進められている。『魚がのぼりやすい川づくり』事業は、魚がすみやすい場をつくる事業にステップアップしている。いずれの施策を推進するにも住民と行政が協力すること＝流域連携が大切である。」という主旨のお話がありました。



●基調講演
塚原浩二氏
(国土交通省川局河川環境課河川環境保全調整官)

また、川が子ども達の学びの場として注目され、様々な活動が行われていること、それらの

動きを支援するプロジェクトや事業が全国的に展開されているといったことを、事例を交えて紹介されました。

パネルディスカッション

パネルディスカッションでは、千葉氏から夕張川流域で行われている活動紹介があり、荒関氏からは、流域連携における自治体、住民のそれぞれの役割について千歳川の取り組みを参考に

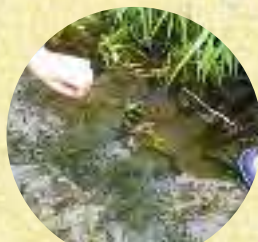
お話がありました。また、妹尾氏からはこれからの川づくりに向けて、『自然再生事業』を視野に入れた取り組みの検討などについて助言がありました。



- 〈パネラー〉
塚原 浩一氏 (国土交通省河川局 河川環境課河川環境保全調整官)
渡辺 和弘氏 (江別河川事務所長)
川口孝太郎氏 (栗山町長)
千葉 光弘氏 (夕張川なんでも探検隊長)
荒関 岩雄氏 (千歳川流域連携懇談会事務局)
- 〈アドバイザー〉
妹尾 優二氏 (流域生態研究所長)
- 〈コーディネーター〉
栗山町いきものの里づくり推進協議会

2日目 現地見学会

セミナー2日目は、現地見学会です。夕張川流域の3箇所を見学して回りました。多良津橋付近の河岸では、アイヌの人々が「カムイリユウカ」と呼んだ岩盤を見たり、ハサンベツ川では栗山町民が取り組む「里山づくり」の現場を見学しました。阿野呂川合流点は、魚類の産卵場として最適との意見が出て、「将来、『水辺の楽校』をつくらう」という話も出てきました。現地を見ればみるほど、川へ行けば行くほど、新たな発見があるんですね。



多良津橋側の河岸で見つけた湧水。



阿野呂川合流点 ハサンベツ川 多良津橋付近
奥に魚道が見えます。夏、子ども達が川流れをして遊んだ場所。 暖かい豚汁とおこわを食べました。おいしかったあ〜 水が少なくて、ほとんど川底が見えています。

夕張川クイズ 問

ここはどこでしょう？— 橋編

今回は、橋にちなんで3枚写真を用意しました。橋が3つ並んでるけど、それぞれどこでしょう？



かつて渡船があった場所。



新しくできた橋から写しました。



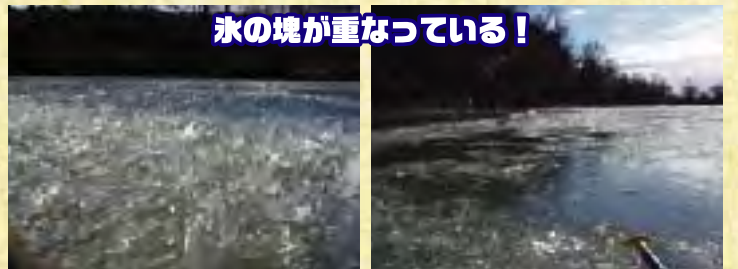
鉄橋ですよ。橋脚に流木がのってます。

冬の夕張川

左側真ん中に川面が少しだけ見えます。
(撮影:JR由仁夕張川橋梁の上流)



支流にはこんなに透き通った川があるんです。凍りかけてますが奥の川が夕張川本流。(撮影:イタイベツ川)



氷の塊が重なっている!

川面にはった氷がダム放流で押されながら重なり、流れ出るときの写真です。(撮影:円山付近の夕張川)

夕張川で楽しく安全に遊びたい! 『川の学習手引書』つくっています!

夕張川を題材にした「川の学習手引書」が、住民有志の編集委員会で作成されています。「夕張川・川の学習手引書編集委員会」は、前年度行われた意見交換会を受けて昨年10月に設立されたもので、「夕張川で楽しく、安全に遊びたい」という声に応えられる手引書づくりを目指しています。



第1回編集委員会



第2回編集委員会



第3回編集委員会



「徹底的に夕張川にこだわろう!」

●夕張川・川の学習手引書編集委員会の概要

・名称 / 夕張川・川の学習手引書編集委員会 ・目的 / 川への導入、川への誘いとなる手引き書作成

	日時	場所	内容
第1回	H17 10月28日(金) 18:00~20:00	ふれあいプラザ	編集委員会の立ち上げ、目的確認・編集体制の確認・編集計画について検討
第2回	H17 11月24日(木) 18:00~20:00	ふれあいプラザ	手引書の対象者について検討・手引き書の使い方について検討・手引き書の内容、構成イメージ共有
第3回	H17 12月18日(日) 13:00~16:00	カルチャープラザ Eki	手引書原稿2案をもとに議論・手引き書原稿案の推敲・手引き書の内容、構成イメージ共有
第4回	H18 1月29日(日) 15:00~18:00	カルチャープラザ Eki	修正した手引書原稿1案をもとに議論、推敲
第5回	H18 2月26日(日)	カルチャープラザ Eki	手引書の内容、構成の確定・使用資料(写真、イラスト等)選定

夕張川の生き物たち

「阿野呂川・雨煙別川調査」で見つけた生き物のつづき...

前回の夕歩道でお伝えした昨年9月19日の「阿野呂川・雨煙別川調査」で見つかった生き物を、またまた紹介します。



雨煙別川の上流の薄暗い林の中で見つけたキノコ達、専門家にお聞きすると2つとも毒キノコでした。なんか見るとおいしそうだけど食べると幻覚、精神錯乱など中毒症状をおこすそうです。中毒にならないよう、十分注意しましょう。

テングダケ



サマツモドキ

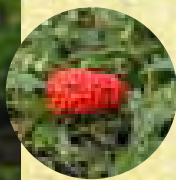


キノコ採りで注意すること

- 知らないキノコは採らない、食べない。
- 食べられるキノコの特徴を完全に覚える。
- よく知っている経験者と行く、など。

コウライテンナンショウ

サトイモ科の多年草で漢字で書くと高麗天南星。高麗というくらいですから朝鮮半島に由来があるのでしょうか? マムシが鎌首をあげたように見えること、茎模様がマムシに似ていることからマムシグサともいわれるそうです。茎のさき筒状の仏炎苞(ぶつえんほう)と呼ばれる奇妙な花(花序)を咲かせます。右写真は果実で、トウモロコシのように密な実がついてます。



タラノキ

ウコギ科の落葉低木樹、タラノメのてんぶらで人気ですね。茎や葉のするどい刺は、大型の草食動物から身を守るための戦略だそうです。幹皮、根皮は、胃がんや糖尿病に効く貴重な薬草にもなるそうです。



番外編: 貝の化石



阿野呂川の上流、河岸の岩盤で見つけました。何の貝なのか、今度調べてご報告します。



わたしが豚汁つくったのよ。



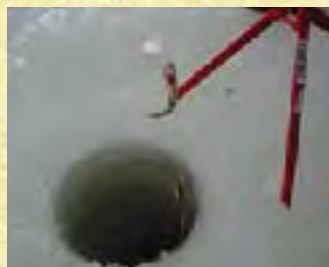
北海道の冬の味覚、ワカサギ



僕もおじいちゃんと釣ったよ。



おいし〜い♪



最初は、入れ食い状態だったのに!



釣り師はテントにはいらなない?



夕張川の恵みだあ! 「ワカサギ獲ったぞあ〜」

■日時 平成18年2月4日(土)
■場所 由仁町の旧川

「フロンティア由仁」、「夕張川なんでも探検隊」のメンバーが、夕張川の旧川でワカサギ釣りをしてきました。ちっちゃいワカサギだけど、結構いるもんですね。魚類調査で夕張川本流にもいることがわかってはいますが、これも川の恵みです。みんな楽しそう。

夕張川クイズ ここはどこでしょう 橋編答え

A 国道274号の川端橋付近

川端ダムのすぐ下流に道東自動車道、JR石勝線、国道274号が走り、夕張川に3本の橋が架かっています。写真は一番下流から上流側、ダムの方を撮ったものです。かつて渡船があった場所です昔から交通の要衝です。(撮影:12月)

B 栗幌橋から上流を見る

新しくできた栗幌橋から上流を見て撮りました。上流には清幌床止めの段差、清幌橋が見えます。河川敷の土色の部分は、園芸培土のピートモスを採っているところです。夕張川は昭和11年に新水路が掘られて直接石狩川に流れるようになりました。写真の夕張川もこの新水路の一部分です。緩やかに蛇行しています。(撮影:6月)

C 夕張川鉄道橋(函館本線)

JR函館本線の鉄橋です。橋脚にたくさんの流木がのっています。流木があるところまで水面から3mはあると思うのですが、上まで増水したということですね。隣の橋は国道12号線です。(撮影:7月)